

一貫教育校の広場

幼稚園

横浜初等部

普通部

中等部

湘南藤沢
中等部・高等部

高等学校

志木高等学校

女子高等学校

ニューヨーク学院
(高等部)

英語爆発！SFC中高2024年3月の挑戦と成長

●湘南藤沢中等部・高等部 教諭 藤田眞理子 ふじた まりこ

昨年末、私は生徒に声をかけた。「英字新聞甲子園って、うのがあるんだけど興味ある？」その生徒はSFC新聞部のメンバー。日本語での記事執筆に慣れていたが、英語での執筆は未知の領域。数日後、彼女はチームを作って英字新聞コンテストに参加する意向を私に伝えた。5人のメンバーは全員6年女子。実際、作成し始めたのは締切の2週間前だった。そして締切の2日前に、最終版を私に見せてくれた。彼女たちの作品は「The Wind Times」と題され、目を引いたのは日本の米軍基地についての記事だ。本校のアメリカ人教師、日本人教師へのインタビューも掲載されていたが、英単語の選び方やタイトルの書き方、日本の新聞とは異なる記事のまとめ方には改善の余地があった。その後、必死に修正をしたのか、彼女たちの努力が実を結び、3月末の発表で優良賞（全国第3位）と外国メディア賞を受賞した。記事を書いたβクラスの生徒の底力を感じた。

英語ができるとされているαクラス

（帰国生のクラス）の生徒にとっても、英語力だけでは足りないという苦い経験がある。高校生バレーメンタリーイベント連盟杯への参加だ。本校5年生αクラスの授業で



未来創造塾βドームで洋楽を楽しむ



KITEにおけるスキットの発表

ディベートを学び始めたのは今年の1月。それでも予選から数日前の練習が功を奏し、神奈川県第3位に入賞し、3月の全国大会への切符を手に入れた。全国大会は48校がトーナメント式で戦う2泊3日の大会。しかも英語ディベート部で何カ月もディベートスキルを磨いてきた強豪校ばかりだ。本校はベスト16位にさえ入ることができなかった。それでも、参加した生徒たちはあらためてディベートの面白さや奥深さを知ったようだ。結果は惨敗だったが、彼らは爽やかな顔をしていた。

3月に始まったKITE (Keio Intensive Training in English) はSFC中高独自の1泊2日の英語キャンプだ。この期間、使える言語は英語のみ。湘南藤沢キャンパスの未来創造塾で、αクラスの生徒と、希望者から抽選で選ばれたβクラスの生徒の合計40名が参加した。費用は宮田・渡部語力充実基金から賄われ、生徒は無料参加。昨年の夏休みに、東京学芸大学主催の英語キャンプで得たノウハウを生かし、今回のKITEが実現した。SFC中高の一般生と帰国生が交ざり（割合としては約1:1）、お互いが学び合う機会を創出できた。今後は学習効果が限定的にならないように、KITEの質を向上させていきたい。